

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート【重要】 2017年 11月 15日公開

.....
ウクライナのキエフより、おはようございます。アメリカでは夜ですが、ヨーロッパとイスラエルではすでに朝、アジアは日中ですね。イスラエル、シリア、ロシア、アメリカに関して、この24時間のうちに起こった事を短くアップデートしたいと思います。

今回は、非常に重要な展開です。今の今まで私たちは、イランの駐留について、ただ語るだけで、彼らがあそこにいることを誰も認めませんでした。誰もそれを言わず、誰もそれを立証しませんでした。イスラエル軍の査定で、我々は彼らがあそこにいることを知っていましたが、あちら側では全くそれを確認しませんでした。しかし、それは昨日までの話で、ロシアの外務大臣セルゲイ・ラブロフが文字通り、公式に発表しました。

「シリア国内にいるイランは、シリアの安定を保つための合法的な軍隊である。」

それだけではなく、さらに彼は言いました。

「我々がワシントンと話した、シリアからの非シリア軍撤去や、その宣言等はどれも、イランにも、イランの支援する軍隊にも当てはまらない。」

私がこれを言う理由は、イランにとってこれはロシアとの提携の利札で、現在、公式に、政治的に、ロシアはイランが現場にいることを認めているのです。また、これは彼らの全面的な承認です。

ではなぜこれが流れを変えるのか？今まで、イスラエルは、「自分たちの国境の安全を守るために、我々は必要な事を行う」といったことを、他に気付かれないようにして、ロシアとやり取りして来ました。しかし今や、ロシアが全世界に伝えました。

「イランは、我々の証人のもと、シリアにいる。」

となると、イスラエルにとっては大変なことで、何処でもシリア内のイランの基地を攻撃するのは、ほぼ不可能になるのです。

ネタニヤフ首相は昨日、ロシアの宣言への直接的な反応として、次のように述べました。

「イスラエルは単独で行う事になったとしても、自国の安全を守るために必要な事を行う。」ネタニヤフ首相は、ロシアがシリア内のイランの存在を承認した結果として起こる、イスラエルに対する将来的な軍事対立に対して、基礎を敷きました。

多くの人が、実際に何が起きているのか理解していないので、明確にしておきます。ここ6、7年間の間、シリアで内戦が起きている。そして、このことで100万人近くの人が死にました。その最中にロシアが侵入し、イランが侵入し、トルコが侵入しました。そして、今では地域全体を牛耳っているロシアが、世界に向かって

「イラン、トルコのロシアとの協力は、シリアの安定のために必要だ」

と言っています。そして、ロシアは現在、全世界に告げています。

「シリア国内のイラン駐留は、クレムリンが全面的に承認したことだ。」と。

では、何故これが聖書を信じるクリスチャンにとって、それほど重要なのか。それは、今はもう「たぶん」「そうかもしれない」「それも有り得る」ではなく、事実として、ロシア、トルコ、イランが現地にいるのです。そして彼らは、自分たちはどこにも行かないと言い、そのうえ、シリア駐留が不当だという者に対しては、誰にでも挑んでいます。ロシアが実際に言っているのは、

「もしあなたがたが、イランに攻めて来るなら、我々が相手だ。」

これは、すごい事です。なぜすごいのか。

それはもし、イランの軍や武器の蓄積のために、明日イスラエルがダマスカスを攻撃すれば、我々はロシアを相手にすることになるのです。仮に、今までロシアは目を瞑って、我々が必要な事を行うのを認めていたとすれば…ところで、ロシアは、イスラエルがイランに対して危惧する時、私たちが大げさに言っていると考えています。ロシアは、イランのイデオロギーを全く理解していないのです。ロシアが見ているものは「\$」ドルマークだけ。彼らはこの7年間…後半の3年、彼らは現地にいました…ずっと機会を窺ってきた褒美にようやく与えられるということしか見ていません。ロシアは、今こそ小切手を換

金する時だ、と理解しているのです。今こそ、その時。さらにシリア国内で安定すれば、ガスも石油も自分たちのもの。イランと取引して…この獲物は誰とも共有しない。アメリカに台無しにさせたりしない。イスラエルに何も手出しはさせない。我々がここを牛耳っていることを明確にする。ということで、もしイスラエルが何かを行えば、ロシアは大きな確率で介入してきます。そして、恐らく近い将来、イスラエルに攻撃を先導して来るでしょう。彼らはもう、そこにいますから。

そしてこれらの事全てが、世界中の聖書を信じる人たちに告げています。この地球の歴史上、エゼキエル戦争にここまで近づいたことは、一度も、ただの一度も、全くありません。今までに一度もなかったことです。いつも言いますが、私は預言者ではないので、携拳がいつ起こるかは言えません。ただ一つ、私に言えることは、大きな可能性として、携拳はエゼキエル戦争の前に起こるか、もしくはその時だと私は思っています。ということは、私たちにってはまさにゴールが見えている、ということです。そこで思い浮かぶのは、私が今用意しているメッセージで、「競争を走れ」。私たちは競争を走るために召されたのだ、と私は心から信じています。多くのクリスチャンがこれを理解しません。今は、傍観者として座って見ている時ではありません。今は、競争を走る時です。そこで私たちは、どんな競争を走るように召されたのかを説明します。私たちはどんな風に走らなければならないのか。ただのランニングとして走るのか？それとも、勝つために走るのか？褒美を勝ち取るために？褒美とは何か？私たちは、どのように自分を備えるべきか？その競争を効果的に走るために、我々はどう訓練するべきか？ただ虚しく走ることは可能でしょうか？パウロは言いました。

「ただ虚しく走るようなことはしたくない。」（書記注：第一コリント 9:26 参照）

言い換えれば、走っているフリをして実際には何も行わない、キリスト教ごっこをすることも可能なのです。ということで、これについて語ります。今、そのメッセージをまとめています。主が、実にたくさんのお話を語ってくださって、これに関して伝えたいことがたくさんあります。このメッセージを最初に話すのは、来年一月フィリピンで、だったと思います。その前になるかも知れません。ただ、皆さんに伝えたいのは、今こそその時、今がその時。他の人がしているように眠ってはいけない時だ、ということです。今は、眠りから覚める時、ローマ書 13 章が告げています。

11 …私たちが信じたころよりも、**今は**（体からの）救いが私たちにもっと近づいているからです。

（ローマ 13:11 カッコ内は訳者補足）

12 夜はふけて、昼が近づきました。

（ローマ 13:12a）

今はまだ夜です。私たちはまだ、暗闇の中にいます。しかし、それはふけました。そして、…昼が近づいた、と聖書は言います。昼が近づいたということは、私たちは昼間の者であって、夜の者ではない。そして、昼が近づいているのです。私たちは、そこに属しているのです。聖書は、私たちの国籍は、ここではなく天だと告げています。そして、もし私たちが昼の者で、昼が近づいているなら、そして、私たちの国籍が天にあるなら、私たちの体の贖い、私たちの携拳、私たちの本当の目的地が近づいている、ということです。だから、私たちが理解しておくことはとても大切なのです。世界中の展開について語る時、…私たちはニュースキャスターではありません。それは私の目的ではありません。私は、ニュースを伝える為にここにいるわけではありません。ベルを鳴らして、人々に理解させるためです。聖書が正確であるだけでなく、精密で信頼でき、事実に基づくだけでなく、聖書は私たちに今、いのちを選び、光の中を歩く事を選び、そして備え、競争を走ることを選ぶチャンスを与えてくれます。忍耐をもって競争を走れ、と聖書にはあります。落ち込んだり、諦めたいと思うのではなく、そうではなく、忍耐です。近い将来、恐ろしいことが起こります。世は間違った方向に進んでいます。ご自分の周りを見てください。しかし聖書は私たちに、信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離すな、と告げています。ヘブル人への手紙 12 章です。私たちはそれを忘れてはなりません。競争は目をどこかに据えて走るものです。普通、私たちが走る時、どこを見て走りますか？目的地に目を向けるでしょう？後ろを見ながら競争は走りません。前を見て走ります。聖書には、私たちは競争を走り、そしてイエスを見ろと書いています。彼は今、どこにいますか？天国です。では、私たちの目的地は？天国です。それならゴールは？天国です。では、私たちが天国に到着する可能性はどうでしょうか？信者として眠る、つまり死ぬか、私たちは携拳されるのです。個人は眠ります。でも全体では、私たちが彼に会う、彼に目を向けると言えば、それは教会の携拳です。

ということで、ただ皆さんのことを励ましたいと思いました。私は今、ウクライナのキエフで、ミニストリーの準備で二日間ここにいなければならず、それ以降、クロアチアにて三ヶ所でメッセージします。ヨーロッパのこの地域から、世界中のどこであれ、皆さんのいる所でベルが鳴っています。神が動いておられます。物事が起こることを、神が許しておられるのです。聖書には、こうあります。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ…

(イザヤ書 46:10a)

つまり神は、2,800年前の大昔から、まだ起こっていない事を告げられた。それが物凄く近い将来起こるのです。

皆さん全員を励ましたいと思います。強くあれ。競争を最後まで走りましょう。最後まで走らないなんて贅沢は出来ないと思います。特に今、私たちにはゴールが見えているのです。普通、競争を走っていて、ゴールが近づいて来ると、たくさんの人がいるものです。ヘブル人への手紙 12章を考えてください。雲のような証人。彼らがゴールにいるのです。

- 1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。
- 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

(ヘブル 12:1~2a)

ということで、ロシア、イランに関する中東のビッグニュースでした。

イスラエルは備えをしています。実際、イスラエルは

「我々は何があっても自衛する」

と世界中に告げています。そして、これら全ての中にアメリカ合衆国の消極的な態度が見られます。それは聖書にピッタリとあてはまり、ヨーロッパからの消極的な態度も見えています。全体図の中で活発なのは、エゼキエル 38、39章に出て来るメンバーです。

すごい時代です。とてもワクワクしています。皆さんも恐れなくてワクワクしてください。イエスは

- 33 …あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ 16:33)

と言われました。

ということで、ウクライナのキエフより、皆さんを祝福します。信仰を保ってください。それから、私たちにメールをください。私たちのウェブサイト beholdisrael.org を訪れて、メールアドレスをご登録ください。それから、フェイスブックでのフォロワーが10万人を超えました。ありがとうございます。インスタグラムは「beholdisrael」です。私の行く先々での写真を載せていますので、ぜひフォローしてください。それから、ユーチューブチャンネルは登録者数が57,000人を超えましたが、フェイスブックがいずれ私を締め出すと思うので、ユーチューブチャンネルを登録しておいてください。

「Behold Israel/ビホールドイスラエル」です。私のビデオがあちこちのチャンネルで挙がっている事に関して、多くの人から聞かれましたが、私の動画を使って、他のチャンネルに挙げることは違法ではありません。ただ、私の動画を編集して、元とは全く違う事を言っているようにしたり、日付も変えるのは、モラルに反します。ですから、私が本当に言っていることにこだわるなら、私が本当に言った日付にこだわるなら、「Behold Israel/ビホールドイスラエル」以外のチャンネルを観ないようにしてください。これが私たちの唯一のユーチューブチャンネル、公式チャンネルです。それと、日本語版があります。スペイン語のページは現在制作中です。ともかく登録するのは「Behold Israel/ビホールドイスラエル」です。

ありがとうございます。God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>